

インタビュー

接着剤・シーリング材
大手の積水フーラー(株)
(東京都港区)。主力事
業として展開する衛生・
包装・紙加工向けホット
メルトや住宅建材向け接
着剤・シーリング材など
に加え、新たな柱として
注力しているのがバッテ
リー、電子部品、実装基
板、半導体といったエレ
クトロニクス関連製品を
取り扱う機能材料事業
だ。今回、「人々のま

積水フーラー(株)
代表取締役社長
山口 真史 氏
代表取締役副社長
松林 卓弘 氏

水化学工業(株)と米HPI
Elixirの折半出資の合併
会社として設立された。



山口氏(左)、松林氏

ホットメルトでトップ3圏内

電池や電子部品向けで新技術

積水化学は、住宅カンパ
ニー、環境・ライフライ
ンカンパニー、高機能プ
ラスチックスキャンパニ
の3カンパニー制だが、
当社は高機能プラスチック
スキャンパニーに属して
いる。事業内容は接着剤、
シーリング材、化学工業
製品の開発・製造・販売

品、段ボールケースなど
身の回りの様々な物に使
われている。
同じく主力事業となる
のが50年以上の実績を有
している住宅建材向け製
品だ。工場生産用接着剤、
現場施工用の変成シリコ
ーン接着剤やシーリング
材、建設土木用接着剤な

ーの生産拠点で、衛生
材料や包装・紙加工製品
向けホットメルトをはじめ
め、実装基板用UV硬化
型コンフォーマルコーテ
ィングや自動車部品用UV
硬化型液状ガスケット
などを生産している。研
究開発拠点の1つでもあ

リー用接着剤EV Protect
400SEPR」だ。ディ
スペンスにより 배터리
パック内のLiBセル
同士の隙間を埋めるもの
で、セルが発火した際に
はウレタンが延焼を防止
し、別セルへの延焼を防
ぐ。軽量(発砲比重0・
16〜0・19)であるため、

(シール材)。ロボット
自動塗布により、従来の
手貼りと比較して省人化
に寄与する。また、ホッ
トメルトであるため接着
後も剥がすことができ、
リワークに向いている。
リサイクル時には中身の
確認も可能だ。

だ。主力事業
の1つが衛生
材料や包装・
紙加工製品向
けホットメル
トで、市場シ
ェアはトップ
3圏内に入
る。ホットメ
ルトとは有機
溶剤を含まな
い無溶剤型接
着剤で、紙お
むつ、生理解

ールを軽くできる。
山口 これまでに円筒
型LiB向けとして採用
済みだが、国内でも早期
に顧客を獲得していき
たい。角型よりも隙間が
きやすいパウチ型もチャ
ンスがあるとみている。

そして最後にUV硬化
型のCIDU(Cured In
Place Gasket)だ。家
電、電子部品、半導体を
含む様々な用途で納入実
績を有する。最大の特徴
がタックレスによりUV
365nm波長のみで硬
化できる点で、設備導入
やランニングコストの削
減に寄与する。

どラインアップは豊富
だ。一方、20年に機能材
料事業本部を設立し、エ
レクトロニクス関連向け
製品の提供も開始した。
主力生産拠点は滋賀県
の水口町と静岡県浜松
市の2カ所。前者は積水
化学の水口工場内にあ
り、主に衛生材料や包装
向けのホットメルトや、
住宅建材向け接着剤・シ
ーリング材などを生産し
ている。後者は旧HPI

今回の新製品につ
いて。
松林 機能材料事業本
部はHPIElixirが開発・
製造する接着剤・シーリ
ング材を輸入・販売する
ほか、浜松工場を中心に
当社が開発した独自技術
を開発・製造・販売して
いる。今回、自動車関連
分野に向けて4つの技術
を紹介した。その1つが
リチウムイオン電池(Li
B)セル向けのバッテ

松林 続いて同じくパ
ッケージングの「EV
Seal 500」および「耐火
シーラントFR407」
だ。前者はホットメルト
タイプの液状ガスケット

後者は当社が独自開発
した技術だ。LiBパッ
クに塗布することで耐火
シーラントとして機能
し、LiBセル熱暴走時
に延焼やガス噴出を防止
す。EV Protect 400SE
PRにも使用するこ
とで、より安全性を担保
できる。

